予算等審査特別委員会

委員長　岡部　恒司
副委員長　佐藤　和子

本委員会は、全議員55人で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。委員会は、2月24日から11日間開催され、延べ99人の委員が約43時間にわたり質疑を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又　隆広　委員
○不登校児童生徒へのさらなる支援と予防対策の予算拡充
○講師を小学校1年生の担任に配置するのは考慮すべき
○ICT教育の学校間格差防止
○幽霊消防団員の実態と対策
○機能別消防団員制度の導入
○消防団への理解促進と広報

田村　勝　委員
問　福室排水区対応の西原雨水ポンプ場の最短稼働時期は。
答　令和9年度中を目指す。
○白鳥・高砂・福室・福住町・田子・仙石・栄地区冠水対策
○ポンプ場稼働までの応急対応
○令和元年東日本台風の二の舞いを演じる恐れと市長の考え

内藤　良介　委員
○大学生の奨学金返還支援やコロナ禍により就職が困難な状況に置かれた若者就労定着支援などの取り組みと課題
○地域交通支援制度の動画配信による新たな周知
○都心部のみならず住宅地でも街路樹の計画的維持管理を

千葉　修平　委員
○学校施設長寿命化方針変更に伴う八木山中学校等8校の体育館大規模改修の遅れ
○デジタル教科書の効果検証
○大年寺山公園等石灯籠の耐震補修と仙台城跡石垣の耐震化
○郡山折立線青葉山工区の概要
○消防団車両の原則4WD化

村岡　貴子　委員
問　里親の増加に伴い、里親ショートステイ導入の取り組みを検討してはいかがか。
答　ショートステイの委託など、登録里親のレベルアップの取り組みを検討していく。
○産後ケア事業のさらなる拡充
○不登校対策にSSWの活用を

高橋　卓誠　委員
問　敬老乗車証負担率を上げるなど、持続可能な公共交通ネットワーク構築のための決断を。
答　地域公共交通計画策定に着手し、市民生活を支える移動手段構築に鋭意取り組む。
○新型コロナワクチン接種体制
○飲食店などへの経済支援

佐々木　心　委員
問　JR長町駅東口ロータリー再整備の経緯と工事予定は。
答　一般車のバス通行阻害や乗降場での長時間駐車が問題だった。令和3年度から着手予定。
○子育て情報アプリの周知策とこれからの運用について
○障害理解促進の取り組み

菅原　正和　委員
問　市長が考える中心部メモリアル拠点は合築か単独か。
答　合築もあり得るが、引き続き整備手法を検討する。
○新たに10年間の歩みを加えた荒浜小学校の記録映像制作を
○地域づくりパートナーサポート事業について

松本　由男　委員
問　新本庁舎屋上にヘリ離着陸場を設置するよう再検討を。
答　災害時の施設の在り方も含め新年度の早期に整理したい。
○避難行動要支援者の支援・支援者とのマッチングが不十分な現状を踏まえた対策
・「個別計画」の策定推進

菊地　崇良　委員
○35人以下学級ではいじめ・不登校に効果が出ていない。約11億円を使ってきたが、雨漏りする体育館の屋根修繕やスクールカウンセラー増員等に使うべき。優先順が違う。
○万全のパンデミック対策を
○交通体系の見直しが必要

跡部　薫　委員
○待機児童に係る本市の状況
○配慮を要する子への取り組み
○幼稚園等へのICT化充実策
○NPO連携で貧困家庭等支援
○公民連携による稼ぐ手法
○勾当台・定禅寺通エリアビジョンの明確なターゲット
○公民連携担当局を決めるべき

加藤　和彦　委員
○スマート農業の推進について
・地域の農家等と共に推進を
・将来の農業を担う学生が学ぶ農業高校や大学と連携を
○農業を活用した体験型の観光コンテンツ創出
○「農」と「食」の分野における東北連携の推進

橋本　啓一　委員
○震災の記憶と教訓の継承
○新型コロナワクチン安定供給
○地域経済を支える中小企業へのさらなる支援策
○コロナ禍における潤いある市民生活の重要性
○アフターコロナのまちづくり
○市長が目指す大都市像

斎藤　範夫　委員
○令和3年2月の福島県沖地震の初動対応から見えた課題
○東日本大震災からの復興の成果と残された課題
○コロナ禍の避難所運営
○自宅の安全が確認できたら「原則在宅避難」。防災リテラシー向上の取り組み推進を。

庄司　俊充　委員
問　ほ場整備事業に係る地元農家の費用負担を伺う。
答　整備にはさまざまな方式があるが、おおむね地元農業者の負担はない制度となっている。
○水路等管理や鳥獣被害対応など農地管理の担い手不足

野田　譲　委員
問　市役所新庁舎の建設や仙台駅前再開発に併せ、荒井駅北地区や東西線沿線の整備も力を入れて取り組むべき。
答　ご指摘の地区等も含め、まちづくりや仙台の魅力向上に全庁一丸となって取り組みたい。
○公園・街路樹の管理について

西澤　啓文　委員
問　キッチンカー活用は交流人口拡大やにぎわい創出に有効。関係する局は多いが、一丸となりハード・ソフト両面の支援を。
答　既存イベントに加わることで新たな魅力に発展することも期待。全庁挙げて対応したい。
○屋外広告物の安全対策

佐藤　正昭　委員
問　ふるさと納税返礼品はコロナ禍で苦境に立つ地元業者の支援や地元産品の顧客開拓に活用できる。各局連携して推進を。
答　コロナ禍に応じた追加募集の検討も含め、地域経済活性化等のため連携して対応したい。
○東北連携における本市の役割

次彦　赤間　委員
問　仙台東道路は物流強化を期待できるが、市の負担も大きい。積極的に国と協議すべき。
答　整備効果等を見極め、県と連携し国と協議していく。
○回送新幹線の旅客利用
○区画整理事業地内の未整備公園用地の校庭としての活用

渡辺　博　委員
○危機管理局を設置するにあたり、警察など外部の専門家の知見を活用すべき
○地区集会所借上補助制度の交付年限撤廃と補助対象拡大
○歴史的、文化的価値のある野草園は市民の宝。さらに磨き上げ、市内外に発信を。

野草園のミズバショウの群生

公明党

会計・費目別の主な質疑項目

〈補正予算〉
○割増商品券による消費喚起
○タクシー運転手への支援策
○エンタメ事業者支援金の対象か等関連事業者支援金の対象か

〈総務費〉
問　東部沿岸地域で、スーパーシティ構想のアイデア募集を。
答　青葉山地区の取り組みの中で自動走行車両の通行等、展開可能な事業を見極め検討する。
問　市バス事業の赤字改善のため、乗合タクシーへの転換をスピードを上げて推進すべき。
答　関係局における計画の進捗等を確認しながら必要な予算の措置で後押ししていく。

〈市民費〉
○集会所建設費補助上限見直し
○地域の回覧板等の電子化
○自転車の安全利用啓発活動
○自転車走行空間の整備状況
○電動アシスト自転車やシニアカーの安全利用促進

〈健康福祉費〉
○障がい者の相談支援専門員研修の活用と相談支援事業の平準化により事業所経営安定を
○精神障がい者の雇用促進のため、企業や当事者へのきめ細かな支援体制の充実を
○放課後等デイサービス事業は、利用者への療育内容を評価した報酬体系を国に求めるべき
○災害時要援護者支援を進めるため広報の強化や要援護者を対象とした避難訓練の実施を

〈環境費〉
○新環境基本計画の到達目標
○防災対応型再生エネルギー
○地域ごみ出し支援活動の促進
○プラスチック資源循環
○ごみ収集から資源回収へ

〈経済費〉
問　鶴ケ谷地域活性化に向けたアバインへの支援拡充を。
答　国や県、市の支援策を活用してもらえるよう支援する。

〈土木費〉
○建築物のアスベスト対策支援事業と含有調査
○市営住宅における安心安全の対策として防災用具の活用と防犯カメラの早期設置を
○西中山地区等の路面凍結対策
○ほ場整備事業に係る地元農家の費用負担を伺う。
答　整備にはさまざまな方式があるが、おおむね地元農業者の負担はない制度となっている。
○水路等管理や鳥獣被害対応など農地管理の担い手不足

野田　譲　委員
問　市役所新庁舎の建設や仙台駅前再開発に併せ、荒井駅北地区や東西線沿線の整備も力を入れて取り組むべき。
答　ご指摘の地区等も含め、まちづくりや仙台の魅力向上に全庁一丸となって取り組みたい。
○公園・街路樹の管理について

西澤　啓文　委員
問　キッチンカー活用は交流人口拡大やにぎわい創出に有効。関係する局は多いが、一丸となりハード・ソフト両面の支援を。
答　既存イベントに加わることで新たな魅力に発展することも期待。全庁挙げて対応したい。
○屋外広告物の安全対策

佐藤　正昭　委員
問　ふるさと納税返礼品はコロナ禍で苦境に立つ地元業者の支援や地元産品の顧客開拓に活用できる。各局連携して推進を。
答　コロナ禍に応じた追加募集の検討も含め、地域経済活性化等のため連携して対応したい。
○東北連携における本市の役割

次彦　赤間　委員
問　仙台東道路は物流強化を期待できるが、市の負担も大きい。積極的に国と協議すべき。
答　整備効果等を見極め、県と連携し国と協議していく。
○回送新幹線の旅客利用
○区画整理事業地内の未整備公園用地の校庭としての活用

渡辺　博　委員
○危機管理局を設置するにあたり、警察など外部の専門家の知見を活用すべき
○地区集会所借上補助制度の交付年限撤廃と補助対象拡大
○歴史的、文化的価値のある野草園は市民の宝。さらに磨き上げ、市内外に発信を。

新本庁舎にストリートピアノの設置を
（写真は仙台空港の「復興空港ピアノ」）

〈教育費〉
○不登校児童生徒の安心できる居場所づくりと経済的支援
○フリースクールに関するガイドライン作成と財政的支援
○不登校の背景要因調査は子どもの声を拾う無記名式も

〈総括質疑〉
問　本庁舎建て替えの基本設計の中でストリートピアノの設置を検討してはいかがか。
答　ピアノの設置は新本庁舎低層部の在り方に関係する。新年度の調査検討の中で、にぎわいづくりの方策を検討したい。
○新型コロナワクチン接種体制
○下水道事業中期経営計画
○新せんだい都市交通プランに沿った郡山地区移動実態調査
○フリースクールガイドライン
○新生児臨時特別給付金延長

令和3年度　各会計別歳出予算総括

会計区分		当初予算額（百万円）	対前年度比（%）
一般会計		576,424	106.5
特別会計	都市改造事業	2,756	83.6
	国民健康保険事業	89,338	99.1
	中央卸売市場事業	4,250	101.0
	公共用地先行取得事業	971	67.9
	駐車場事業	172	68.2
	公債管理	118,328	102.2
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	77	79.2
	新墓園事業	649	83.6
	介護保険事業	84,432	107.9
	後期高齢者医療事業	12,443	102.7
	小計	313,416	102.3
企業会計	下水道事業	66,700	97.4
	自動車運送事業	12,580	96.7
	高速鉄道事業	33,891	91.2
	水道事業	46,035	98.2
	ガス事業	38,211	84.8
	病院事業	22,161	106.7
	小計	219,578	94.9
総計		1,109,418	102.8

民主フォーラム仙台

山下　純　委員
○手続きナビゲーションシステムは、行政手続きや窓口等の案内にとどまらず、電子申請までできるようにすべき
○市民一人一人が使える行政サービスをホームページで一覧できるシステムの導入を

貞宗　けんじ　委員
○不妊に関する支援事業は制度拡充と併せて広報の強化を
○コロナ禍で中止・縮小した認知症関連事業は、症状悪化を防ぐため、確実に補完を
○eスポーツ等を活用したフレイル予防を推進すべき

郷古　正太郎　委員
○値上がりした学校給食費は他都市より高く、給食費の援助を行う就学援助のハードルも高い。援助要件を緩和すべき。
○新型コロナワクチン接種会場
○要保護児童の見守りについて
○保育所のICT化推進予算

細野　たかし　委員
問　すくすくサポート事業に利用料減免制度を新設せよ。
答　利用料を含め、支援の充実に向けた検討を行っていく。
○病児保育のWEB予約導入
○消防団への入団促進と災害時情報収集用テレビの配備

鈴木　すみえ　委員
問　コロナ禍で市税の徴収猶予を受けている事業者は競争入札への参加登録ができないのか。
答　令和2年度受け付け分から登録の特例措置を設けている。
○補助金申請様式の簡素化・押印の廃止と迅速な支払いを

沼沢　しんや　委員
問　あすと長町中央公園等の規模の大きな公園には、原則、本市として時計の設置を。
答　地域ニーズや財政状況を勘案し、個別に検討していく。
○指定管理者選定の透明性確保
○体育館の雨漏り等の改善

西公園に設置されている時計

渡辺　敬信　委員
問　市立病院の医薬品調達委託業務が公平公正なものになるよう、契約見直し等の改善を。
答　令和3年度より、契約項目に指名停止業者からの調達を禁じることを新たに追加する。
○地元土産店へさらなる支援を

佐藤　わか子　委員
○不登校予防には子どもたちの人間関係構築能力育成が重要
○不登校児童生徒が自宅で行うICT学習の出席扱いの基準
○西公園に子どもの遊び場を
○広瀬川の親水施設整備は市民の声を聞いて進めるべき

村上　かずひこ　委員
○新型コロナ感染のリバウンドの兆しが見られる中、変異株に注意が必要。新規感染者の検体は全てゲノム解析すべき。
○ワクチン集団接種会場の運営は委託でも、混乱のないよう市職員も参加した訓練が必要
○本市に納付されるべき21億円がふるさと納税で他都市に納付されている状況を是正せよ
○新本庁舎では最大限再生可能エネルギーを導入すべき

社民フォーラム

いのまた　由美　委員
○既存制度対象外の、困窮した女性へのシェルターや伴走支援、アウトリーチ手法検討を
○母子生活支援施設の、困難を抱える妊婦の受け入れ体制
○原発は再稼働すべきでないが、原発事故の教訓を踏まえ、避難方法の周知や訓練、安定ヨウ素剤を含む資材の準備等を主体的に進めよ

新型コロナの自宅療養者支援物資（イメージ）

ひぐち　のりこ　委員
○私立認可保育所の人件費率
○保育士の処遇改善等加算
公平平等とするよう要望を
○財務諸表未提出の保育所等に対する指導
○短時間保育士を増やす配置規制の緩和はやめるべき
○新型コロナ自宅療養者支援物資の栄養改善や同封物の工夫
○災害食における産学連携

石川　建治　委員
問　まちづくりの視点での空き家利活用の推進を求める。
答　若年・子育て世帯が既存住宅へ住み替える場合の課題を整理し、施策を検討したい。
問　自転車通学生のヘルメット購入への助成制度創設を。
答　効果等を見極める必要があり、調査・検討を行う。
○上工下水道のみやぎ型管理運営方式の問題

小山　勇朗　委員
○四郎丸地域の内水氾濫・浸水対策のため、側溝の清掃、水路の土砂撤去・改修を
○郡山谷地田地域の浸水対策への国・県・市の取り組み
○笊川上流・後田川・堀切川等、河川改修の促進を
○秋保・釜淵地点の落石警報表示板の増設および落石発生時の対応マニュアル作成

蒼雲の会

加藤　けんいち　委員
○伊達政宗公胸像を修復し、博物館中庭から青葉山公園（仮称）公園センターへ移設を
○奨学金返還支援事業は時限事業から通年事業に改めるべき
○特定建築物等の法定点検
○街路樹根上がりの計画的修繕
○キッチンカーの実証実験

小野寺　健　委員
○紫山や明石南等、コミュニティ・センター新設の要望は12カ所あるということを忘れず、地域の願いがかなうよう寄り添った対応を求める。
○ワクチン接種をする上で最も大事なのは「透明性」の確保。市民と情報共有を。

安孫子　雅浩　委員
○5大課題「少子化・孤立孤独化・人口減少・地球温暖化・感染症」に対する認識
○世界から選ばれる希望のまち仙台を目指す決意
○市長は仙台空港と海外をつなぐアンバサダー役を
○県民会館跡地は本市で活用を
○公園愛護協力会の課題
○仙台・東北の発信力の強化

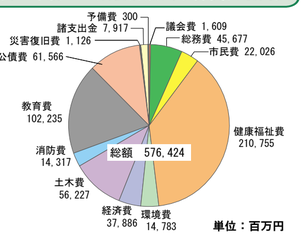
学校やコミセン用地として市に譲渡された紫山地区の土地（31、33番の区画）

市民と未来のために

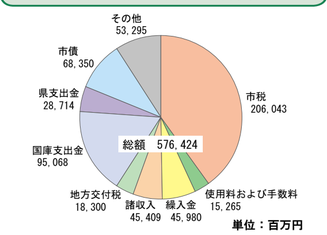
伊藤　ゆうた　委員
問　地域防犯の裾野を広げるため、仙台国際ハーフマラソン大会等の市内イベント時にパトロールランの周知広報を。
答　スポーツ等の観点からランニングを楽しんでいる市民の中より、新たにパトロールランに興味を持ち、参加する方も出るのではと考える。スポーツ等の催事の主催部局と情報共有し、どのような周知が可能か検討したい。

夜間の「パトラン」の様子（写真提供 認定NPO法人改革プロジェクト）

令和3年度　一般会計歳出予算費目別内訳



令和3年度　一般会計歳入予算費目別内訳



令和3年度　市税の内訳

	当初予算額（百万円）	構成比（%）	対前年度比（%）
市民税	104,891	50.9	94.6
固定資産税	71,228	34.6	93.0
軽自動車税	1,805	0.8	106.4
市たばこ税	7,304	3.5	99.8
鉱産税	2	0.0	200.0
特別土地保有税	6	0.0	100.0
入湯税	138	0.1	68.3
事業所税	5,935	2.9	104.6
都市計画税	14,734	7.2	94.9
合計	206,043	100.0	94.6